

帝國大學宿舍規則

又 6
9206
E67



帝國大學寄宿舍規則

- 第一條 寄宿舍ハ帝國大學總長ニ於テ便宜之ヲ各分科大學ニ區分シ學生ノ望ニヨリ寄宿セシム
- 第二條 寄宿ヲ望ム者ハ舍監ニ願出ヅベシ舍監ハ規程ニ從ヒ順次之ヲ許可スベシ
- 第三條 寄宿學生入退舍ノトキハ寄宿舍學生名簿ニ記名調印スベシ
- 第四條 在學證書ニ記名セル正副保證人ハ其學生在舍中身上ニ關スル一切ノ事件ヲ引受クベシ

第五條 寄宿舍ハ之ヲ自修室寢室ニ分ツ

但自修室寢室ノ區分及人員ノ配置等ハ舍監ニ於テ便宜之ヲ定ム

第六條 自修室寢室ニハ日常要用ナラザル雜品ヲ置クベカラズ

第七條 自修室寢室トモ舍監及寄宿舍掛員時々巡檢シ必要ト認ムルトキハ書笈或ハ衣櫃等ニ至ル迄點檢スルコトアルベシ

第八條 貸渡品損シテ用ニ耐ヘザルモノハ其旨届出

ズヘシ決シテ扯裂破毀變形又ハ放棄スベカラズ

第九條 退舍ノトキハ勿論一時下宿旅行又ハ出張スルトキハ寄宿舍ノ貸渡品ハ悉皆之ヲ返納スベシ

第十條 寄宿舍ニ屬スル諸物品ヲ紛失或ハ毀損シタルトキハ直ニ舍監ニ届出デ其指揮ヲ受クベシ

第十一條 晨起ハ午前第六時就褥ハ午後第十一時トス

但日ノ長短ニヨリ之ヲ變更スルコトアルベシ
第十二條 晨起及就褥ノ時刻ハ鐘ヲ以テ之ヲ報スベ

但寢室ヨリ自修室ニ出デ自修室ヨリ寢室ニ入ル
 ハ報鐘後十五分ノ間ニ於テスベシ尤モ報鐘前自
 修室ヨリ寢室ニ入ルハ妨ゲナシ
 第十三條 就褥報鐘十五分後ヨリ翌日晨起報鐘マデ
 ハ各室ノ點燈ヲ許サズ
 第十四條 在舍學生ハ自カラ室内清潔整頓ノ責ニ任
 スベシ
 第十五條 各室ノ掃除ハ毎朝小使ヲシテ之ヲ爲サシ

ムト雖モ空氣ノ流通書籍器具衣服寢具等ノ塵掃整
 頓ハ其室學生自カラ之ヲ爲スベシ
 但毎土曜日ニハ大掃除ヲ爲スベシ
 第十六條 常ニ身體ヲ清潔ニシ着服ヲ整頓シ威儀ヲ
 正シクスベシ且私室ニアル時ノ外必ズ制服ヲ着用
 シ外出ノ節ハ制帽ヲ着用スベシ
 第十七條 來訪者アルトキハ必ズ應接所ニ於テ面接
 スベシ決シテ室内ニ誘引スベカラズ
 但病氣ノ爲メ應接所ニ出ヅルコト能ハザルトキ

ハ舍監ノ指揮ヲ受クベシ

第十八條 寄宿舎ニ關スル諸願届等ハ舍監宛ニ認メ
病氣等已ムヲ得ザル場合ノ外本人自カラ之ヲ持參
スベシ

第十九條 寄宿學生ハ自己又ハ至親ノ病變等事情已
ムヲ得ザルニ非ザレバ外宿スルヲ許サズ

第二十條 外出ノキハ通門鑑札ヲ舍監事務室ヨリ受
取リテ之ヲ門衛ニ出シ歸舎ノトキ之ヲ復收スベシ
但鑑札ノ取扱ハ必ズ自カラ之ヲ爲スベシ決シテ

他人ニ委托スベカラズ

第廿一條 平日ハ課業終ルノ後休日及課業ナキ日ハ
晨起ヨリ歸舎時限迄隨意外出スルヲ得ベシ

第廿二條 冬期春期夏期ノ休業間下宿又ハ旅行スル
トキハ凡ソ日數ヲ豫定シテ其旨届出ヅベシ

但臨時下宿旅行又ハ出張ノ命ヲ受ケタルトキモ
同様タルベシ

第廿三條 歸舎時限ハ平日ハ午後第八時トシ祝祭日
ノ前夜及毎土曜日ハ午後第十時トス

但學術研究ノ爲メ臨時外出若クハ之レガ爲メ定規ノ時限ニ歸舍スルコト能ハザルトキハ豫メ舍監ノ許可ヲ受クベシ

第廿四條 外出中急病其他事故アリテ門限ニ後レ歸舍スルトキハ必ズ自カラ其事由ヲ記載セル證明書ヲ差出スベシ

但午後第十一時ニ至リテ歸舍セザルトキハ外出ト見做シ入門スルヲ許サス尤モ出火等ニテ一時外出スルガ如キハ此限ニアラズ

第廿五條 外出中萬一已ムヲ得ズシテ外宿スルトキ

ハ翌日課業ノ有無ニ拘ハラズ必ズ午前十時迄ニ自カラ其事由ヲ記載セル證明書ヲ差出スベシ

第廿六條 至親ノ病變其他已ムヲ得ザル事故アリテ臨時外出又ハ外宿セント欲スルトキハ自カラ其事由ヲ記載シテ豫メ願出ヅベシ

第廿七條 都テ學生出入時限ノ遲速ヲ認定スルハ舍監事務室備付ノ時計ニ依ルベシ
第廿八條 病ニ罹ル者輕症ナレバ寄宿舎詰醫員ノ所

ニ至リテ診療ヲ請フベシ若シ重病ニシテ自カラ到
ルコト能ハザルトキハ同室ノ者又ハ小使ヲ以テ其
旨舎監事務室ニ申出ヅベシ

但寄宿舍詰醫員不在ノトキハ第一醫院ニ至リテ
診療ヲ請フコトヲ得ベシ

第廿九條 輕症ノ病者ハ室内ニ於テ療養ヲ許スト雖
一週間ヲ經テ尙ホ愈エザルトキ或ハ大患又ハ傳
染病ニ罹ルトキハ直ニ下宿又ハ入院セシム

第三十條 病ニ罹ル者ト雖モ醫員特許ノ證アルニ非

ガレバ室内ニ於テ食事ヲ爲スヲ許サズ

第三十一條 食事及入浴時限ヲ定ムルコト左ノ如シ

一朝餐 自午前第六時至同第七時

一晝餐 自正午十二時至午後第一時

一晚餐 自午後第五時至同第六時

一入浴 自午後第二時至同第八時

但日ノ長短或ハ課業ノ時限等ニヨリ變更スルコ
トアルベシ

第三十二條 學生恣ニ小使ヲ使用スベカラズ

但舍用ニ關シテ之ヲ要スルトキハ其詰所ニ就テ
依囑スベシ

第三十三條 郵便物差出時限ハ午前第八時午後第一
時及午後第八時ノ三回トス故ニ之ヲ托セント欲ス
ル者ハ右時限前ニ發送郵便函ニ投入スベシ

第三十四條 毎日午前第十一時藥取ノ爲メ小使ヲ醫
院ニ發遣スルニ付服藥者ハ右時限迄ニ所方書ニ藥
代金相添ヘ舍監事務室ニ差出スベシ

第三十五條 衣服帽靴等ノ新調修覆又ハ衣服洗濯ノ

爲メ職工ニ用向アルトキハ其詰所ニ就テ之ヲ辨ス
ベシ決シテ室内ニ喚入ルベカラズ

第三十六條 前數條ノ外示達スベキコトアルトキハ
其都度揭示スベシ

第三十七條 都テ示達ハ二日ヲ經レバ一般ニ了知セ
ルモノト認ム
但至急ヲ要スルトキハ回文ヲ以テ示達スベシ

禁條

- 一 恣ニ自修室及寢室ヲ轉換スベカラズ
- 二 貸渡品ハ一切他人ト交換又ハ貸借スベカラズ
- 三 濫ニ他室ニ入り他人ノ勉強ヲ妨グベカラズ
- 四 他人ノ臥床ニ臥スベカラズ
- 五 舍内ニ於テ酒類ヲ飲ミ又ハ之ヲ貯フベカラズ
- 六 濕氣ヲ帶ビタル物其他不潔物ヲ室内ニ留ムベカラズ
- 七 火藥其他爆發品等危險及火災ノ患アル物ヲ舍内

ニ携帶スベカラズ

- 八 採温ノ器具等ヲ室内ニ提致スベカラズ
- 九 寢室ニ於テハ喫煙スベカラザルハ勿論渾テ火及火ノ發スベキ物ヲ置クベカラズ
- 十 猥褻ニ渉ル小説稗史ノ類ヲ讀ミ又ハ之ヲ所持スベカラズ
- 十一 自修室又ハ寢室ニ於テ碁將碁及骨牌等ノ遊戯ヲ爲スベカラズ
- 十二 歌舞音曲高聲口笛等他人ノ勤學ニ妨害ナル舉

- 十二 動ヲ爲スベカラズ
- 十三 窓外へ紙屑塵埃等ヲ投棄スベカラズ
- 十四 建物戸壁等ヲ毀傷シ又ハ樂書スベカラズ
- 十五 舍内床板上ニ痰唾ヲ吐クベカラズ
- 十六 諸掲示ヲ塗抹シ或ハ破毀スベカラズ

Blank page with a faint rectangular border and some bleed-through text from the reverse side.

帝國大學寄宿學生規程

第一 寄宿舍ハ各分科大學ノ各學科及各學級又ハ便

宜之ヲ合同シタルモノヲ以テ部ニ分チ各分科大學

研究生及學生ノ寄宿修學ヲ請願スル者ニ數ヲ限リ

テ入舍ヲ許ス各分科大學ノ教授助教又ハ分科大

學卒業生ニシテ助手ニ任スル者ニモ入舍ヲ許スコ

トアルベシ

但家事ノ係累アリテ規則ヲ嚴守スルコト能ハサ

ルノ事情アル者ハ入舍ヲ許サス

76
9206
E67

第二 各部ニ於テ部員ノ投票ヲ以テ其一名ヲ撰擧シ
帝國大學總長ノ認可ヲ得テ部幹トシ部内ノ秩序ヲ
保維シ兼テ各部ノ利害ヲ代表セシムルモノトス
但部幹ノ任期ハ九月廿日ヨリ一ケ年トス
第三 官司ヨリ各部ニ傳フヘキ事項ハ部幹ヲ經由シ
テ部内ニ達シ各部總員又ハ各員ヨリ官司ニ申出ス
事項ハ部幹之ヲ代表シ又ハ其認章ヲ受クベシ
第四 舍監ニ於テ直接若クハ上司ニ請フテ寄宿者一
同ニ施行セント欲スル事件アルトキ又ハ寄宿者一

同ヨリ舍監ニ申出スヘキ事件アルトキハ部幹ノ會
議ヲ開キ其多數決ヲ取ルヘシ第一ノ場合ニ於テハ
舍監其議長ト爲リ第二ノ場合ニ於テハ部幹ノ互撰
ヲ以テ議長ヲ定ムルモノトス
第五 部幹ハ名譽職トシ自己ノ都合ヲ以テ辭退スル
コトヲ得ス
第六 入舍ノ請願其他限數アル事件ニ付數多ク請願
者アリテ撰擧ヲ要スル場合ニ在リテハ大學院學生
ヲ除キ各分科大學ノ學生ニ就キ請願者ノ概數ノ割

合ヲ定メ同大學中ニ於テハ上級ヨリ順次先取者ヲ
定ムル者トス

第七 寄宿舍管理ノ方法ニ關スル細則ハ帝國大學總
長ノ認可ヲ經テ舍監之ヲ定ム